

2026 年論文要約

鎖骨と乳房の間の領域はデコルテと呼ばれます。この領域は美容的に重要です。男性では T シャツを着た際デコルテが凹んでいると目立ちますし、女性の場合にはイブニングドレスなどを着た際に、この部分が直接目に触れます。

ところが普通のナス法で手術を行っても、デコルテの形は改善しません。図 1 はある病院で手術を受けられた患者さんですが、デコルテの形が良くないので非常に悩まれていました。

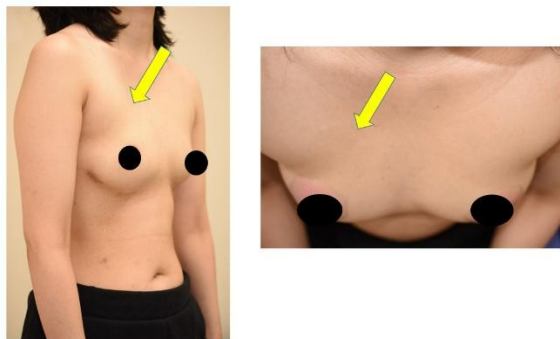


図 1：デコルテの形がきれいに治っていない例

普通のナス法では、デコルテの形が美しく治らない理由を説明します。同じく「あばら骨」と言っても、その形態は胸郭の上の方（鎖骨の近く）と下の方（お腹の方）で異なります。胸郭の下の方では、あばら骨の軟骨の部分の長さが長いので、矯正バーを装着すれば大きく持ち上げることができます（図 2）。

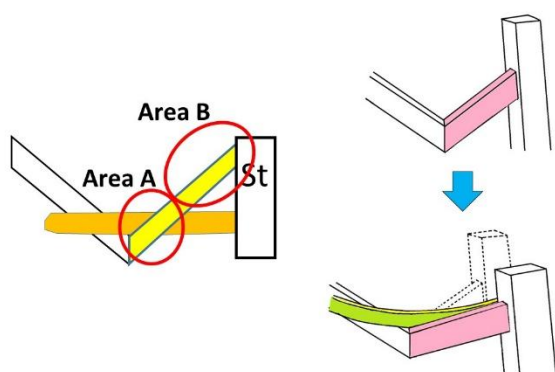


図 2：下の方の肋骨の形は、ナス法できれいに治る

しかし胸郭の上の方のあばら骨では、軟骨の長さは短いので、力を加えてもそれほど持ち上がりません（図 3）

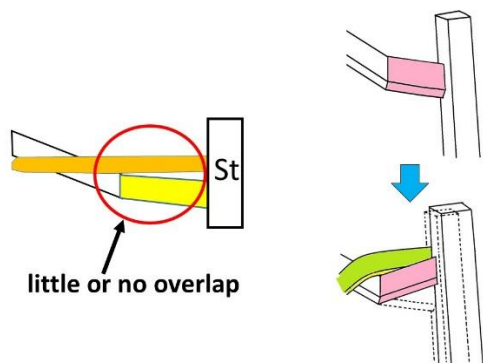


図 3：上部のあばら骨は、矯正効果は少ない

そこで、ひと工夫を加えて、外側よりの部分で骨を離断します。この上で矯正バーを装着すれば、広い範囲を

もちあげることができ、きれいな形に治すことができます（図4）。

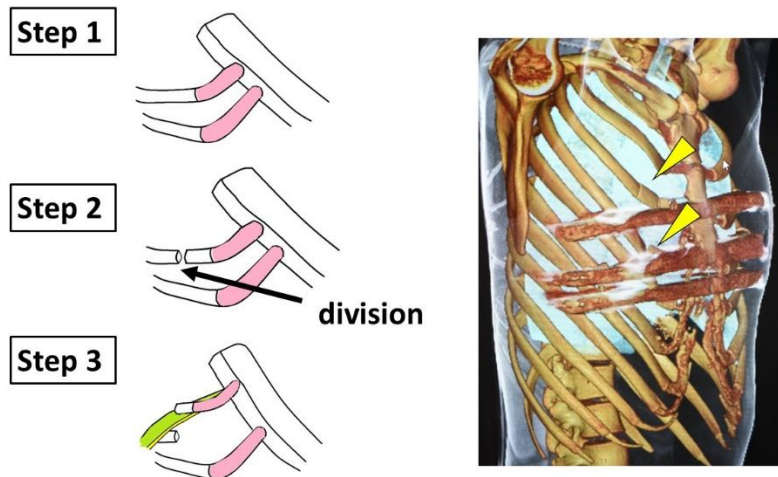


図4：われわれの開発した手術法。骨を離断して持ち上げやすくする。

この方法を用いて手術を行えば、デコルテの部分を美しく治すことができます（図5・図6）。

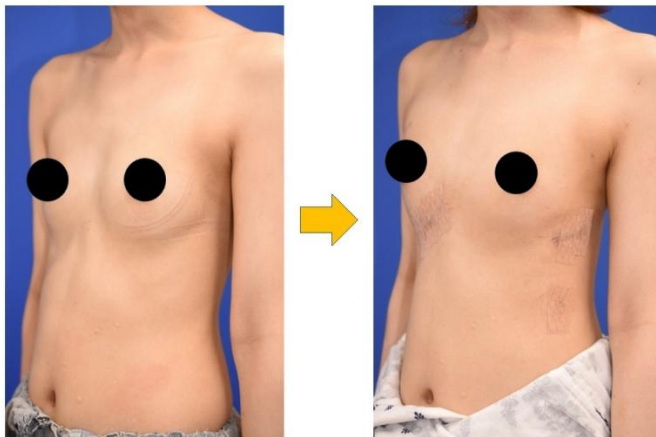


図5：新しい手術法を用いて手術を行った例

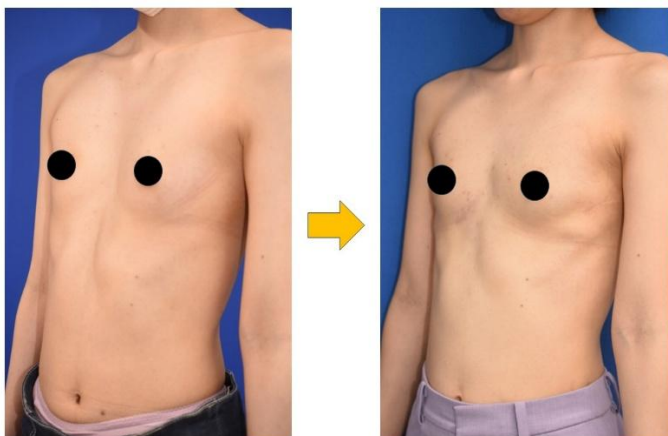


図6：新しい手術法を用いて手術を行った例2